

ぼくと お父さんの

ボランティアかつどう

3月11日、東日本で大きな地しんがおきました。

ぼくは、その時学校の教室にいました。

ガタガタとたくさんゆれたので、つくえの下にもぐりました。すごくこわかったです。

地しんがおきてから、ぼくはお父さんたちのボランティアを手つだいました。

一回目と二回目は、中新田の子どもまつりと、小の田でぼ金かつどうをしました。しんさいにあった人たちに元気になってもらいたくて、大きな声でがんばりました。たくさんの人たちがぼ金をしてくれてうれしかったです。ぼ金をしてくれた人たちは、とてもやさしい人だと思いました。そのお金でひさい地の人たちがたすかってほしいと思いました。

三回目は、お父さんの友だちと一緒に、

石のまきのみなと小学校に行きました。

みなと小学校には、ぼ金かつどうであつまったお金で、小の田でとれたやさいやつけもの、アイスクリームやなっとうをもって行きました。

みんなすごくよろこんでくれました。

おいしいやさいをたくさん食べてがんばってほしいと思いました。またみなと小学校に行ったときは、なかよくなった友だちと一緒にあそんで元気にしてあげたいです。

そして、これからもボランティアかつどうをお父さんと一緒につづけて行って、みんなをえ顔にしたいです。

(作文宮城 60号 特別編『あの日の子どもたち』より)

